



2月 園だより

恩恵幼稚園

2月は一年で一番寒い時節ですが、その寒さの向こうから暖かい春が近づいてきます。子ども達が春を待ちながら遊ぶこの時期は、穏やかで落ち着いた空気が流れます。子ども達一人ひとりに遊びへの思いや、その思いを実現していくための術、また友だちとのつながりが育っていることが感じられます。

寒さに負けず、喜びに満ちた春に向かって、希望を持って歩んでいきたいです。

年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

年聖句

「その人は流れのほとりに植えられた木。」詩編1編3節

2月の月主題 協力する

2月の聖書の言葉

「このように 主によって しっかりと立ちなさい」

フィリピ4：1

2月の月のねがい

- ・季節の移り変わりから自然の不思議さを感じ、いつもお守りくださる神様の愛を知る
- ・物事にすすんで粘り強く取り組む中で、友だちを互いに認め合い信頼関係を深める
- ・遊びや生活のなかでの知恵や喜びを、互いに伝え合う

2月の行事予定

- 3日(月) **スイミング 8:50 出発**
節分 豆まき・新入園児お招き
- 6日(木) お誕生会 (1・2・3月生まれ) 13:45～
- 7日(金) 卒園写真撮影(ばら) 9:30～
- 12日(水) めぐみの会講演会 13:30～
- 13日(木) 体操教室・習字(ばら・ゆり)
- 14日(金) クッキング・お茶(ばら)
- 17日(月) リトミック♪
- 18日(火) 絵本の読み聞かせ
- 19日(水) 資源回収
- 20日(木) お茶(ばら保護者お招き) 13:45～
- 21日(金) 英語(ばら・ゆり)
- 25日(火) スイミング 9:10 出発



※小学校体験入学：5日(水)西小、6日(木)東小、国高小、13日(木)南小

延長保育お休み：6・13・18・20・27日

(お知らせとお願い)



- 3日(月)は新入園児の体験入園をします。
- 6日(木)は1, 2, 3月生まれのお子様のお誕生会をします。その月生まれのお子様の保護者様は、13時45分までにおいでください。保護者様が2名以上ご参加の場合は月初めにご連絡ください。
- 7日(金)の9時30分より、ばら組の卒園写真の撮影をします(スモック着用)。欠席の場合は、カメラマンの都合上、当日8時までにご連絡をお願いします。
- 12日(水)は13時30分からめぐみの会講演会です。講師は、福井工業高等専門学校 環境都市工学科 辻子裕二教授をお招きして、防災についてお話していただきます。ぜひご参加ください。
- 13日(木)は体操教室の参観ができます。ばら組保護者様には10時30分からご自由に参観ください。
- 20日(木)13時45分からばら組のお母様をお茶にお招きをします。1年間子ども達が楽しみながらお稽古してきた様子をご覧ください。
- 21日(金)は英語の参観が出来ます。ばら組保護者様には10時30分からご自由に参観ください。
- インフルエンザや胃腸炎が流行する時期です。毎朝熱を測ってから登園するようにお願いします。



3月の行事予定

- 8日(日) 卒園礼拝 ばら組
- 11日(水) ガラス拭き
(ちゅうりっぷ・ゆり・ばら組の保護者様)
- 18日(水) 卒園式
- 19日(木)～4月7日(火) 春休み

4月の行事予定

- 8日(水) 新学期始まり
- 10日(金) 入園式

2月の礼拝

主 題 協力する

聖書の言葉 「キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるので。だから、…わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、このように主によってしっかりと立ちなさい。」

フィリピの信徒への手紙 3章 21節～4章 1節

解説：どのような人もキリストの白く輝く世界に導かれ救われる。

「キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるので。」

「私たちの卑しい体」にキリストの十字架の命が注がれ、卑しい体が栄光の身体に白い体に変えられるのだ。

「だから、…わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、このように主によってしっかりと立ちなさい」との御言葉が響く。「しっかりと立つ、しっかりとつながって生きる力。それは、キリストの愛に満たされること」であると教えられます。

フランシスコローマ教皇が来日。その目的は「すべての命を守るために」。「核は犯罪で神に罰せられる。兵器で威嚇しながら、どうして平和の提案ができるか」「真の平和は非武装以外ありえない」と語られ、そして「原爆と核実験、あらゆる紛争の犠牲者の名により、声を合わせて叫ぼう。戦争はいらない。兵器の轟音はもういない。こんな苦しみはもういない」

「武器に屈してはならない。信頼関係を持つことが第一だ」と、アフガンで活動する中村哲医師が銃弾に倒れた。アフガンの人々が普通に生活できるように、「すべての命が守られるように」、先ず「水」をそして「食糧」を「緑」とその尊い働きが広がり、水路をつくり砂漠を緑に変え 60万人の命が支えられるようになった。アフガンの人々が武器ではない信頼でつながる世界が広がっている。

「命」が「信頼」でつながったら「すべての者の命が守られて」生きることができる。

(「キリスト教保育」誌 2月号より抜粋)

これからの未来を生き抜く子ども達に大事なものは「非認知能力」

体も心もめざましく成長している子ども達。あれもこれも…と身につけてほしいものがたくさんあって、優先順位に迷いますね。子どもの将来の為に、今何をすればいいのか、テレビでもおなじみの汐見稔幸先生からのお話を掲載しますのでぜひご一読ください。

◎子どもの未来には、ずばりどんな能力が必要ですか？

教えてください。

これから必要になるのは、文字・数などの前に、失敗から学ぶことが上手、人と協力できる、自分で考える、違う価値観を柔軟に受け止める、新しい発想ができる…そんな力です。

「非認知能力」と呼ばれ、今、世界で注目されています。

◎なじみのない言葉ですが、「認知能力」ではない能力という意味合いでしょうか？

そうです。認知能力とは、おおまかに言えば算数や読み書きのような知的能力です。

今までは、「賢い子に育てる」とは認知能力を伸ばすことだと思われてきました。ところが幼児期に算数や読み書きを早く学んだ子と小学校からスタートした子で、中学校の学力を調べると差がない。早め、早めにやっても、しばらくすると追いつかれるのです。

育ちに見合った認知能力は大事なのですが、それ以上に非認知能力が重要であり、それを幼児期に伸ばすことが大事だとわかってきたんです。

◎失敗から立ち直る力など、非認知能力の例は、ふだんの育児ではあまり意識しないけれど、人生で大事なもののばかりですね。

親御さん自身も、これまで何かに意欲的に取り組むことや、根気強くやり抜くことの大切さを感じたことがあると思います。端的に言うと、前向きに生きる心の装置ですね。

非認知能力の反対は「認知能力」

認知能力は基礎的知識、記憶力、判断力など知的な能力を指し、IQ(知能指数)として数字で表すことも可能。

非認知能力の3つの要素とは

対して、非認知能力とは、感情や心の働きに関連する能力。

「忍耐力・社会性・感情コントロール」の3つを中心とする。幼児期に非認知能力を高める教育を受けると、成人後もその効果が続き、社会的な成功や健全な生活につながるという研究(ノーベル経済学賞受賞のジェームズ・ヘックマン)が有名。乳幼児期は脳を委縮させず、安定して発達させる大事な年齢です。脳は成長とともに認知能力を担当する前頭連合野とつながります。つまり、「認知能力を高めるには、まず非認知能力から」なんですよ。

この続きは、園便り3月で「非認知能力を伸ばす方法は?」「ほめるのと叱る、どちらが非認知能力を育てる?」等をお伝えします。

(小学館の子育てサイト「Hugkum (はぐくむ)」より抜粋)